

- 1 学校名 石川県能登町立小木小学校
- 2 活動テーマ 海に親しみふるさとに誇りと愛着を持つ児童の育成
～海に関する体験活動を通して～

3 実践の概要・ねらい

本校が位置する石川県小木地区は、日本海側有数の漁業基地・イカの水揚げ量が日本海側で一番多く、地域住民も「イカの町」としての誇りを持っている。また、地域挙げての祭り「イカす会」をはじめ海洋関係の行事も多く、海に関する施設も多くある。

本校の教育目標の一つに「地域活性化の一翼を担う」という一文があり、児童が地域行事に積極的に参加し、地域を盛り上げて過疎化を吹き飛ばし、将来もこの地域に対するほこりを持ち続けてほしいという願いが込められている。

昨年度に引き続き、海洋教育に取り組み、海洋教育を通して地域にほこりと愛着を持つ児童を育成したい。

4 実践計画

① テーマ・概要・活動計画、教科等

1・2年生「生活科」～海に親しむ～

「きせつともだち」、「生きものといっしょに」の単元で、近隣の海洋施設に出向き、主に海に親しむ学習を行う。

3・4年生「総合的な学習の時間」～海を知る、海を守る～

3年生：「地域・環境学習」の中で海に関する地域の祭りや、海上保安署と連携して海を守るための学習を行う

4年生：地域の海を調べ、地域の良さを発信する学習を行う。

5・6年生特例校の指定を受けている「里海科」～海を知る、海を守る、海を利用する～

5年生：地域の行事に参加しながら、「魚のたんじょう」や「日本の水産業」について学び、地域の漁業について学習を深める。

6年生：「漁師の仕事」について地元で働く若い漁師にゲストティーチャーとして来校していただき、ふるさとに対する愛着やふるさとの漁業の発展にかける思いを学習する。また、地元でとれる魚について学ぶとともに魚の料理についても学習する。

② 実践の評価について

- 1・2年生：生活科の3観点「生活家への関心・意欲・態度」「活動や体験についての思考・表現」「身近な環境や自分についての気付き」をもとに単元ごとに評価する。
- 3・4年生：総合的な学習の時間の観点「学習方法に関すること」「自分自身に関すること」「他者や社会とのかかわりに関すること」をもとにそれぞれ1～3項目評価基準を決めて評価する。
- 5・6年生：里海科の4観点「里海科についての関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」について評価する。

5 今年度の実践

- ① 計画からの追加・変更点→なし
- ② 実践の成果

実践を継続していく中で、海に関する興味・関心が高まるとともに、地元の良さを改めて自覚できた。また、毎年公開している「里海科研究発表会」で、海洋教育で学んだ内容を盛り込むことで、保護者、地域の人々に児童の学習の成果を十分にアピールし、学校への理解度が高まった。

体験活動を多く取り入れることで、児童数が減少していくなかでも、海洋教育に関するいろいろなことをたくさんの方から学ぶことを通して、ふるさとに対する愛着心・地域の一員としての自覚が高まった。

- ③ 次年度への課題

3年間の研究発表会は、10月～11月に開催していたので、実践内容が似たものとなってしまった。平成30年度は、7月の実践発表をすることで、参観者からの新しい助言を賜りたい。

6 主な連携機関及び内容

- ① 能登里海教育研究所：全学年にわたって指導・助言。実験の準備。ゲストティーチャー等
- ② 金沢大学臨界実験施設：親子夜の観察会（海の世界連鎖等）イカの解剖学習。
- ③ 海上保安署：着衣泳の指導、海洋ゴミ・環境問題等
- ④ のと海洋ふれあいセンター：磯観察、海藻標本、貝細工等
- ⑤ 県立能登高校：体験実習船乗船、定置網観察等
- ⑥ 日の出大敷：漁師の仕事見学、ゲストティーチャー等
- ⑦ 小木公民館：伴旗祭り
- ⑧ 石川県水産総合センター：うみとさかなの科学館見学
- ⑨ 小木スマイルプロジェクト：地区イベントに参加、県水産調査船・イカ釣り船乗船体験。

1年生「海に親しむ」

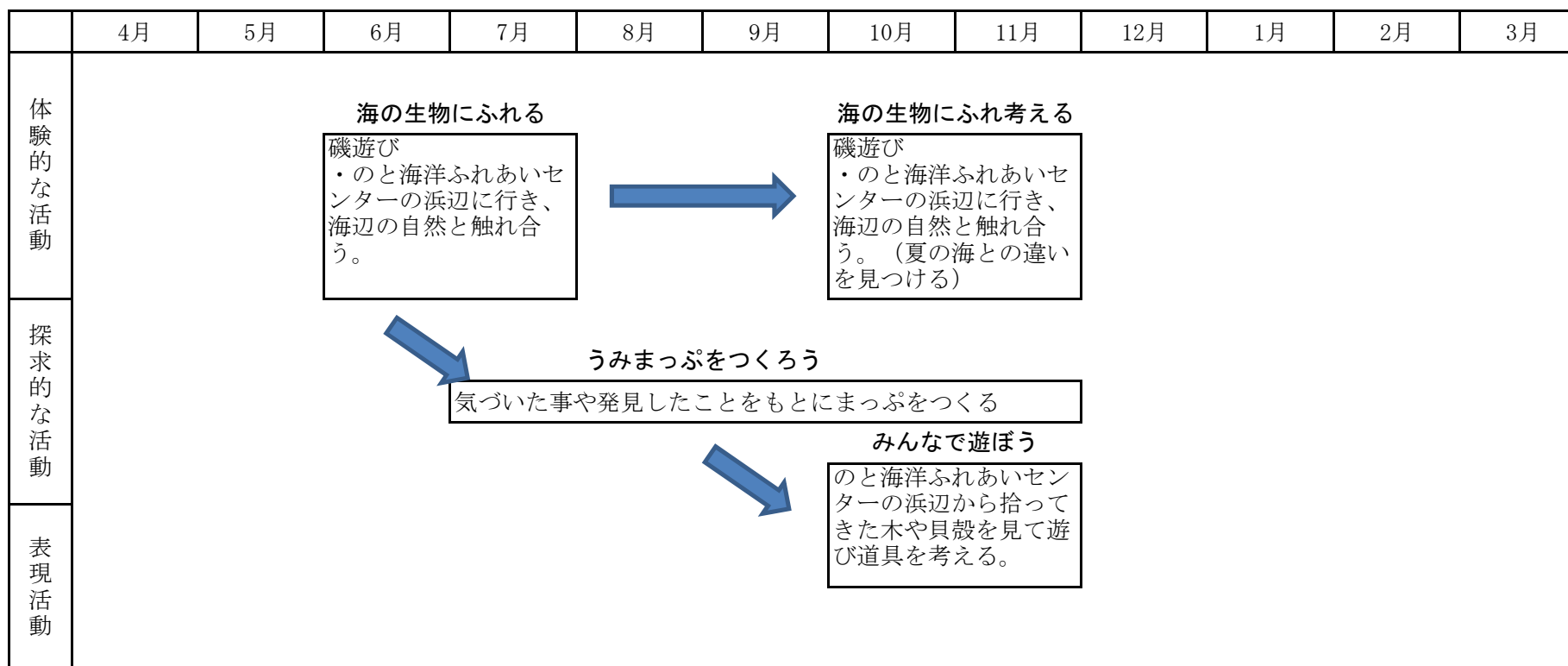
【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 6月～11月（生活科 16時間）

○関連 学校行事

○目標 午間を遊して身近な自然に触れ、近くの公園まで散歩したり、自然に触れ合ったりする活動を遊して、身近な自然に関心をもち、季節の移り変わりを実感できるようにする。



【主な連携機関と内容】

のと海洋ふれあいセンター：磯観察、見学

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

2年生「海に親しむ」

【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 5月～11月 22時間（生活科 22時間）

○関連 学校行事

○目標

- ・年間を通して身近な自然に触れ、近くの公園まで散歩したり、自然に触れ合ったりする活動を通して、身近な自然に関心を持ち、季節の移り変わりを実感できるようにする。
- ・身近な生きものを探したり、観察したりしながら継続的に飼育活動を行い、育つ環境・成長・変化の様子に関心をもつとともに、生きものに親しみを持ち、生きものにも生命があることに気付くことができるようにする。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 体験的な活動 | <p>海に親しむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>のと海洋ふれあいセンターの浜辺に行き、海の生き物を採取する。</p> </div> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">➔</p> <p style="text-align: center;">海の生き物を育てよう</p> | | | | | | | | | | | |
| 探求的な活動 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>採取した生き物を教室で育てる。 教室で水槽を準備し、役割分担をしながら世話をする。</p> </div> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">➔</p> <p style="text-align: center;">1年生に説明しよう</p> | | | | | | | | | | | |
| 表現活動 | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>教室に育てている生き物を、1年生に紹介する。 育ててわかったことや不思議に思ったことを発表する。</p> </div> | | | | | | | | | | | |

【主な連携機関と内容】

のと海洋ふれあいセンター：海の生き物採取、見学

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー、水槽等準備

3年生「海に親しむ」

【実践のねらい】

- ・海の生き物の特徴やその生育環境の違い、海にかかわる歴史や文化やその地域による違いに関心を持ち、比較しながら調べることができるようにする。
- ・海の環境を保全する活動を通して、自然環境の状況や自分たちの生活が自然環境に及ぼす影響が分かり、進んで海の自然を守ることができる。

○時数4月～3月 50時間（総合的な学習の時間 50時間）

○関連 学校行事

○目標

- ・九十九湾での磯観察や、見つけた生き物を記録したハンドブック制作を通して、身近にある海のすばらしさに気づくことができる。
- ・身近にある海が、かけがえのないものであることに気づくとともに、海の環境を知り、守るために自分たちができることを考え、実践することができる。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|---|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| | わたしたちの海を知ろう | | | | | | | | | | | |
| 体験的な活動 | ①小木の良さについて話し合う ②九十九湾を探検する ③九十九湾の生き物について調べる ④九十九湾の良さ生き物についてまとめる | | | | | | | | | | | |
| 探求的な活動 | わたしたちの海を守ろう | | | | | | | | | | | |
| | ①九十九湾の環境について話し合う ②海の環境を調べる方法について話し合う ③海辺の漂着物やゴミを拾う ④調査した結果をまとめる ⑤海をきれいにする方法を考える ⑥キーホルダーを作成する ⑦海岸清掃をする | | | | | | | | | | | |
| 表現活動 | 調べたことを発表しよう | | | | | | | | | | | |
| | ①1年間の活動を振り返る ②心に残った活動を発表する ③作成したキーホルダーを次年度のイベントで配布する | | | | | | | | | | | |

【主な連携機関と内容】

海上保安署：海の漂着物拾いの指導と説明

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー、水槽等準備

4年生「海に親しむ」

【実践のねらい】

- ・海の生き物の特徴やその生育環境の違い、海にかかわる歴史や文化やその地域による違いに関心を持ち、比較しながら調べることができるようにする。
- ・海の環境を保全する活動を通して、自然環境の状況や自分たちの生活が自然環境に及ぼす影響が分かり、進んで海の自然を守ることができる。

○時数 4月～3月 50時間（総合的な学習の時間 50時間）

○関連 学校行事

○目標

- ・小木で有名なイカについて調べ、ふるさとの海の素晴らしさに気がつき、魅力を伝えることができる。
- ・イカについて興味を持って調べ、私たちの町を「イカの町」として能登町の人々に発信するために活動することができる。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|---|----|----|--|----|----|---|-----|-----|----|-----------------------------------|----|
| 体験的な活動 | 能登町の海について調べよう | | | | | | | | | | | |
| 探求的な活動 | ①能登町の海にいる生き物や、海でとれる魚について調べる ②のと海洋ふれあいセンターへ行き、疑問に思ったことをインタビューする | | | 海藻の謎にせまろう のと海洋ふれあいセンターへ行き、海藻の謎についてインタビューしまとめる | | | 小木発信プロジェクト～イカしたCMでPRしよう～ ①小木の町について知る ②小木をPRするイカの内容について話し合う ③漁協へ行き、イカに詳しい人に話を聞く ④イカのCMづくりをする ⑤完成したCMを地域の人に発表する ⑥地区のケーブルテレビで放映してもらい、町民の方に見ていただく | | | | | |
| 表現活動 | | | | | | | | | | | ふり返り 活動の振り返りをし、学習の成果を全校児童に発表する | |

【主な連携機関と内容】

- のと海洋ふれあいセンター：海の生き物採取、インタビュー
- 能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー
- 能登町小木漁業協同組合：CM作り、インタビュー
- のと小木スマイルプロジェクト：キーホルダー配布

5年生「海に親しむ」

【実践のねらい】

- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 4月～3月 35時間（里海科35時間）

○関連 学校行事

○目標

- ・海の生き物の誕生について調べ、動物の発生や成長について理解することができる。
- ・海の環境の変化とそれに対応する生き物の様子を観察したり調べたりしながら、海をきれいにする生き物について理解し、海の環境保全しようとする資質を養う。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|--|----|-----------|------------------------|----|---|---|-----|-----|----|----|----|
| 体験的な活動 | 海岸クリーン作戦 | | | | | | | | | | | |
| | 中学生とイベント後の町をきれいにする | | | 夜の親子観察会 → 海をきれいにする生きもの | | | サザエや二枚貝、ムラサキイガイなどを海水を張った水槽に入れ、実際に海水が嫌いになるところを観察する | | | | | |
| 探求的な活動 | 地区のイベントに参加 | | | | | | | | | | | |
| | イカの解剖学習 | | 魚の誕生と海の世界 | | | ①魚の誕生に興味を持ち、メダカを飼育しメダカの子が産まれるまでの卵の様子を観察する ②海をきれいにする生きものについて調べる | | | | | | |
| 表現活動 | 日本と能登町の水産業 | | | | | | | | | | | |
| | 能登町で盛んな定置網について知る 海流と大陸棚について調べ、能登町の漁場を知る これからの水産資源について調べ、方法を発表する 学習発表会で保護者、地域の方に見ていただく | | | | | | | | | | | |

【主な連携機関と内容】

金沢大学臨海実験施設：イカの解剖学習

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

うみとさかなの科学館：見学

日の出大敷：ゲストティーチャー

6年生「海に親しむ」

【実践のねらい】

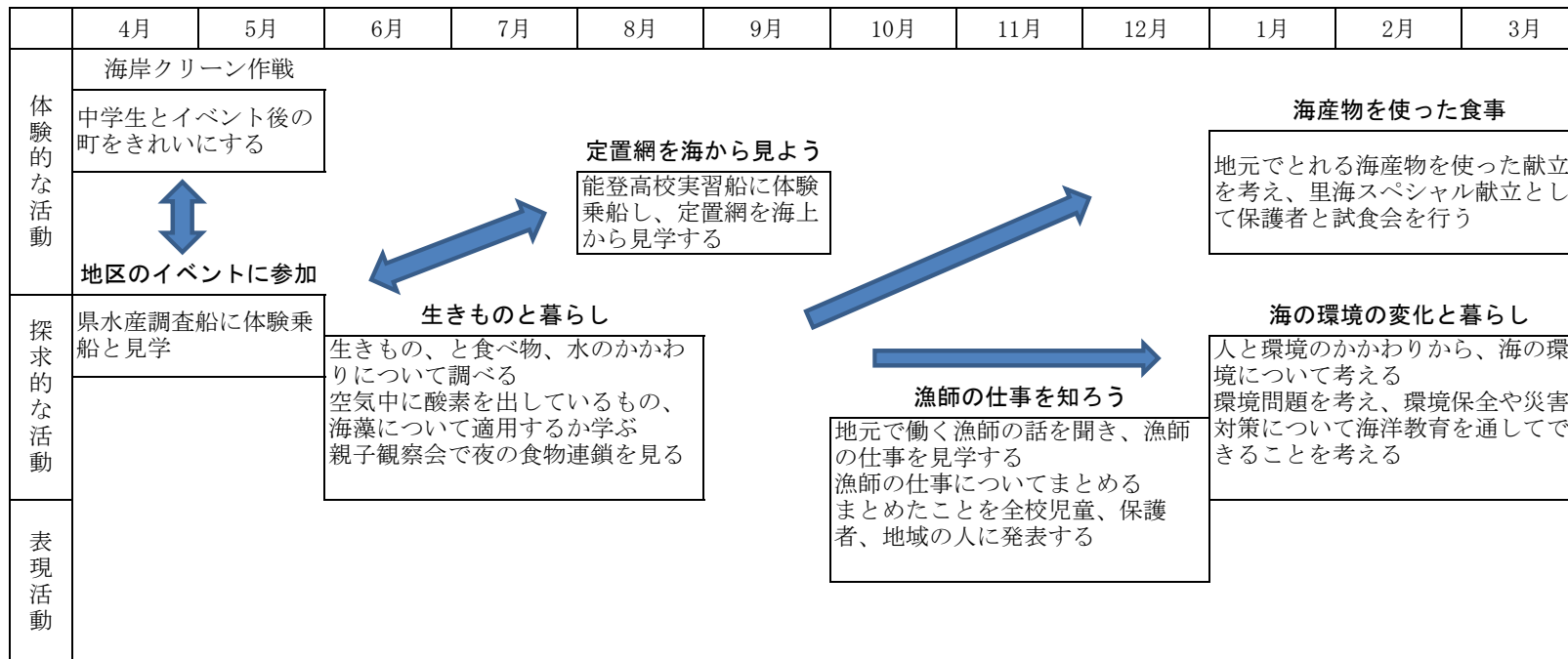
- ・海の豊かな自然や身近な地域社会の中での様々な体験活動を通して、海に対する豊かな感受性や海に対する関心等を培い、海の自然に親しみ、海に進んでかわろうとする児童を育成する。
- ・海の自然や資源、人との深いかわりについて関心を持ち、進んで調べようとする児童を育成する。

○時数 4月～3月 35時間（里海科 35時間）

○関連 学校行事

○目標

- ・生物と環境について意欲的に追究することを通して、その相互関係について考察し、生命を尊重したり、自然の力の大きさを感じたりすることができる。
- ・海にかかわる仕事の体験や施設の見学を通して、海の自然や文化に親しんだり、海にかかわる多様な仕事に触れたりして、進んで海にかかわることができる。



【主な連携機関と内容】

金沢大学臨海実験施設：夜の親子観察会

能登里海教育研究所：指導、ゲストティーチャー

日の出大敷：ゲストティーチャー、仕事場見学

能登高校：高校実習船体験乗船